

# 田中信太郎

## 意味から遠く離れて

Shintaro TANAKA: Far Removed from Meaning

2026年 4.25 [土] — 6.28 [日]

### 世田谷美術館

Setagaya Art Museum

主 催 = 世田谷美術館 (公益財団法人せたがや文化財団)

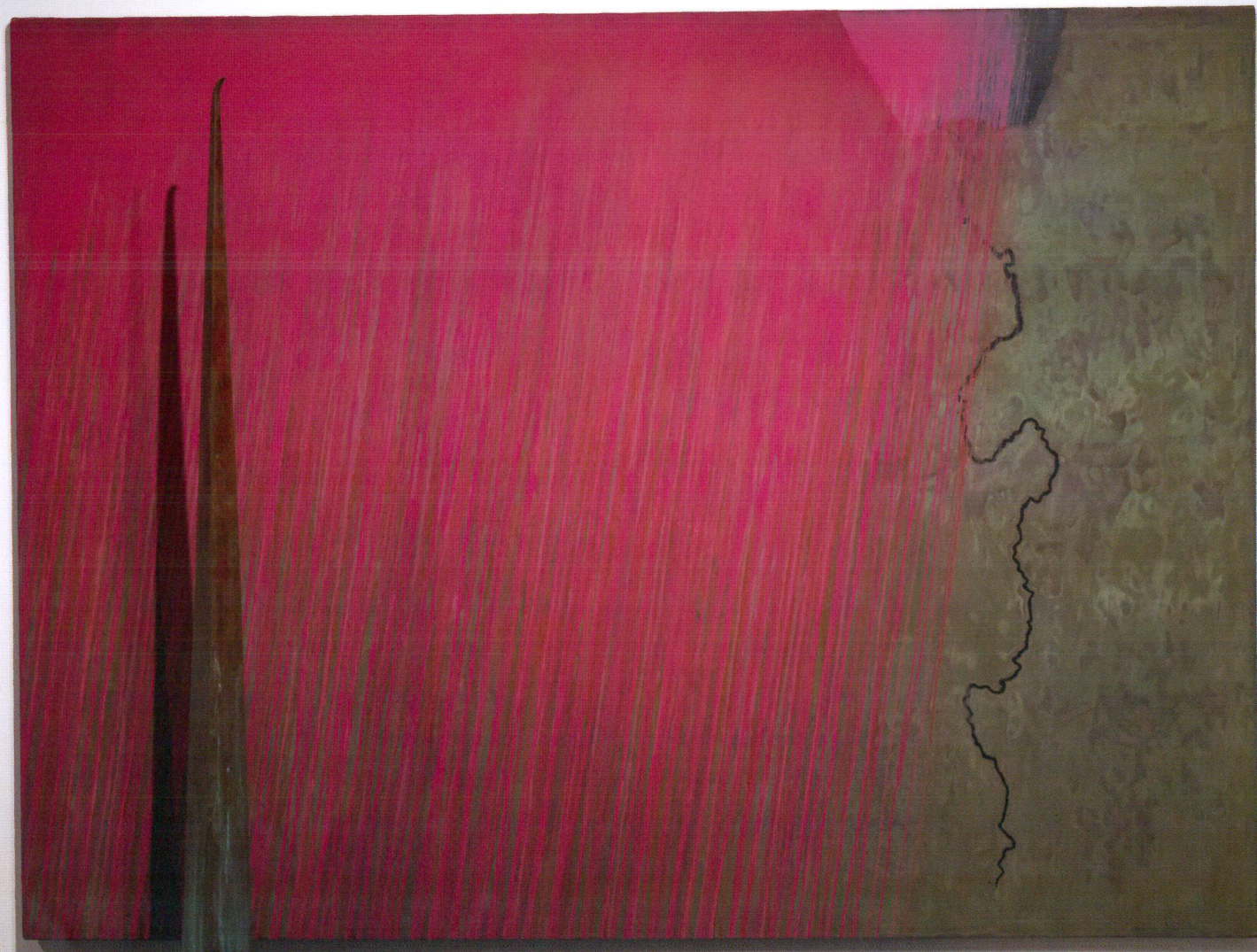
後 援 = 世田谷区、世田谷区教育委員会

特別協力 = 田中信太郎アトリエ

開館時間 = 午前10時—午後6時 (入場は午後5時30分まで)

休 館 日 = 毎週月曜日 \*ただし、5月4日 [月・祝] は開館。5月7日 [木] は休館。

《風景は垂直にやってくる》1985年 日立市郷土博物館 撮影: 田村融市郎



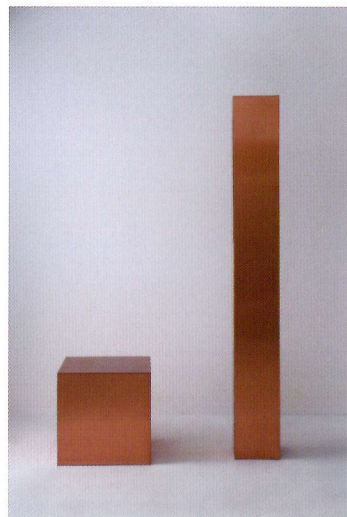
一八歳になる少し前、日立から上京した田中信太郎（一九四〇—二〇一九）は、ほどなくして反芸術と称されていたネオ・タダの活動に参加しました。短い熱狂の時間を体験した後、田中は大きく制作の方法を転換させ、簡素な形態を持つ作品を発表し一躍注目されます。さらに制作者の感情から離れたところで表現を成立させようとすることを試み、バリ青年ビエンナーレやヴェネチア・ビエンナーレなど数々の海外展にも参加しますが、田中はアトリエを世田谷から日立へと移し、東京の美術界の喧騒から離れ、内省的な制作環境に身を置くことを選択しました。

大病を患った後、一九八五年に再び大きく作風を変えて復帰。作品は色彩豊かになり、平面と立体を組み合わせた複合的な姿をとるようになります。晩年に至るまで田中は同じことを繰り返さず、新たな作品の在り方を提示し続けました。この営為は常に視ることを基点にした、美術の本質への探究だったといえるでしょう。

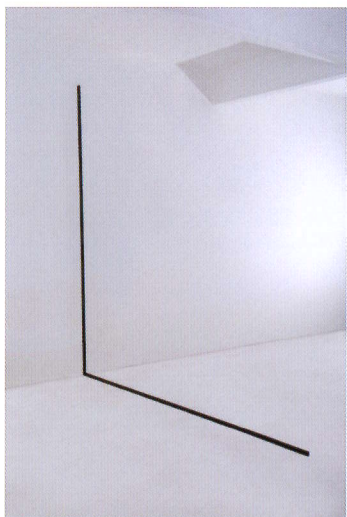
本展覧会では、アトリエに遺された作品を中心に、書き留めた言葉とともに田中信太郎の活動を振り返り、その静寂の奥に潜む創造の謎に迫ります。



アトリエにて 2003年 撮影：大谷健二



《同体積：銅》1980年 田中信太郎アトリエ 撮影：吉山裕次郎

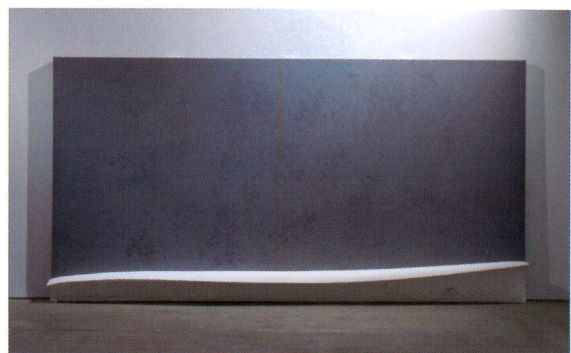


《偏光》1999年 田中信太郎アトリエ 撮影：吉山裕次郎

# 田中信太郎

意味から遠く離れて

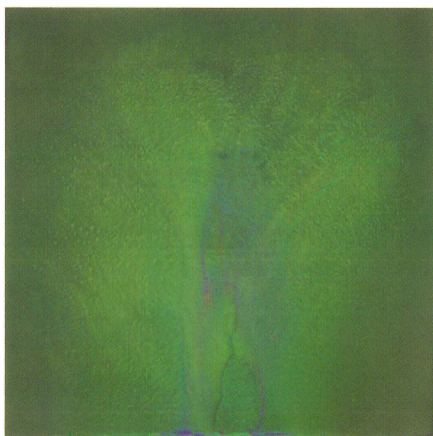
Shinjiro TANAKA: Far Removed from Meaning



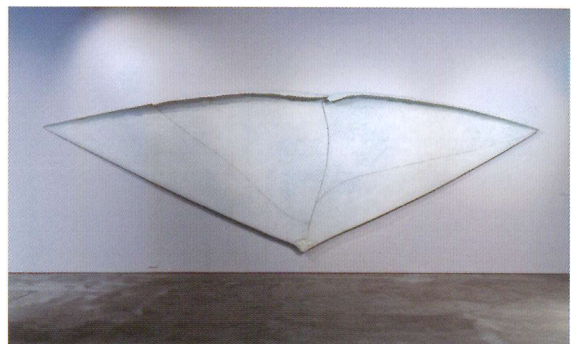
《長いソナタ》1988年 株式会社アートフロントギャラリー 撮影：田村融市郎



《Pianissimo-A》1974年 東京国立近代美術館



《Heliotrope 2008》2008年 石橋財団アーティゾン美術館



《彼岸の陽炎、あるいは子宮の彼方から》1992-93年 田中信太郎アトリエ 撮影：田村融市郎

## 【関連企画】

◎講演会「田中信太郎と倉俣史朗の共鳴」 講師：五十嵐久枝（インテリアデザイナー） 聞き手：当館学芸員  
 クラマタデザイン事務所に在籍時、間近に見続けた倉俣史朗と田中信太郎。在りし日の二人の姿について語っていただきます。  
 日時：2026年5月16日（土）午後3時～午後4時 会場：講堂 定員：先着140名 参加費：無料  
 ＊当日午後2時より講堂前にて整理券を配布。＊手話通訳付き

◎100円ワークショップ 小さなお子様から大人の方まで、1回100円で楽しめる工作。  
 日時：会期中の毎土曜日 午後1時～午後3時 場所：地下創作室 ＊予約不要、随時受付

## 【観覧料】

一般1,400(1,200)円、65歳以上1,200(1,000)円、大高生800(600)円、中小生500(300)円、未就学児は無料  
 ＊( )内は20名以上の団体料金。事前に電話でお問い合わせください。＊障害者の方は500円。ただし、小中高大専門学校生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料 ＊高校生、大学生、専門学校生、65歳以上の方、各種手帳をお持ちの方は、証明できるものをご提示ください。

○本展のオンラインチケットは、2026年4月7日(火)正午より販売します(クレジット決済、またはd払い)。○オンラインでのご購入が難しい方、アーツカード等の各種割引をご利用の方は、美術館窓口で「当日券」をご購入ください。会場混雑の際には、お待ちいただくことがあります。あらかじめご了承ください

オンラインチケット販売サイト [www.e-tix.jp/setagayaartmuseum](http://www.e-tix.jp/setagayaartmuseum)  
[www.setagayaartmuseum.or.jp](http://www.setagayaartmuseum.or.jp) X @setabi\_official @setagayaartmuseum

＊ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。  
 ＊展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。

## 【収蔵品展+次回展情報】

同時開催展：ミュージアム コレクション I 次回企画展：ふたりのアフリカ、手仕事の宇宙  
 武蔵野・再考—写真家たちの武蔵野と向井潤吉の写真 —川田順造・小川待子コレクション  
 5月2日(土)～7月26日(日) 7月11日(土)～9月6日(日)

表現は、丘の向うから、  
 無の状態で、やって来て  
 無の状態、去って行く。  
 意味など、何処にも無い、  
 意味は、定義するものではなく、  
 丘のように呼吸するもの。

田中信太郎



## 【交通案内】

・東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バス④「美術館」下車徒歩3分  
 ・小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バス⑧「砧町」下車徒歩10分  
 ・小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バス⑨「美術館入口」下車徒歩5分  
 ・米館者専用駐車場(60台、無料)：東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

# 世田谷美術館

Setagaya Art Museum

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL.03-3415-6011 (代表)